

=====

KVM-2600S : RS-232C転送機能に関する仕様

株式会社ラウンド

=====

(1) 通信設定

通信レート : 38400 [bps]
データビット : 8 [bit]
ストップビット : 1 [bit]
パリティビット : 無し
制御フロー : 無し

外部機器との接続には、専用のRS-232Cケーブル (M-877) をご使用下さい。

{外部機器} <--- M877 ---> {KVM-2600SH : リアパネルのCTRL端子}

<--- LANケーブル --->

{KVM-2600SD : リアパネルのCTRL端子} <--- M877 ---> {外部機器}

(2) 転送可能なパケット構文

開始記号 '\$' (=24h) と終端記号 [CR][LF] (=0D0Ah) で挟まれた、

長さ 64 [Byte] 以下のパケットの転送が可能です。

なお、パケット長には '\$' と [CR][LF] も含まれているので、

1個のパケットで転送可能なデータ長は最大 61 [Byte] までになります。

また、バイナリデータを転送する場合は、パケット内部に、

'%0' (=00h : NULL)

'%b' (=08h : BackSpace)

'\$' (=24h)

[EQ] (=05h : Enquiry(TC5))

[AK] (=06h : Acknowledge(TC6))

[CR] (=0Dh)

[LF] (=0Ah)

を含むことはできませんのでご注意ください。

[転送可能なパケット例]

ex1. ASCII文字列の場合 \$ABC[CR][LF]

ex2. バイナリデータの場合 24h 01h 02h 03h 04h 0Dh 0Ah

(\$ <--- data ---> [CR][LF])

(3) 制限事項

- ・ スキュー補正処理中 (ホストユニットの READY ランプ点滅中) は転送パケットを発行しないで下さい。
スキュー補正は電源投入時、および、LANケーブル再接続時に実施されます。
- ・ 各パケットの間には 50 [msec] 以上の時間間隔を設けて下さい。
- ・ 転送パケット頻度が高くなると、マウス/キーボードの動作が遅くなるケースがあります。
- ・ RPM-4/RPM-8/PRM-8Dual と操作ユニット (MOU-1) を併用する場合、外部通信パケット転送機能は使用できません。

(end of file)